

# 世界に平和を・戦争の基地はいらない

羽村平和委員会発・横田基地ミニ情報 2010.7.15 No.79 連絡先 FAX 042-555-1911



## 2008年度 横田基地の光熱水料は48億6000万円

「思いやり予算」の光熱水料は、1991年に結ばれた特別協定で、日本側が負担することになりました。

1991年度は、在日米軍全体で27億円でしたが、1993年度には161億円、1997年度には319億円となり、使い方に批判が出るなどして、2008年度は253億円です。2008年度は、三沢、横田、嘉手納の3空軍基地で150億9300万円の光熱水料が使われています。電気も高すぎ、燃料は何に使うの、いろいろ疑問がわきます。(写真は横田基地)

		電気	ガス	水道	下水道	燃料	計(円)
三沢	1993年度	18億9500万	0	0	0	1800万	19億1300万
	2008年度	14億6100万	0	0	0	25億8600万	40億4700万
横田	1993年度	19億4700万	1200万	3億5300万	3億6000万	900万	26億8100万
	2008年度	18億8500万	700万	6000万	8億1900万	20億8900万	48億6000万
嘉手納	1993年度	38億8300万	0	14億1900万	1億3800万	700万	54億4700万
	2008年度	42億6200万	0	12億7900万	3億6300万	2億8200万	61億8600万

\* 1993年度は『前衛』No.673の臨時増刊号、2008年度は『軍事研究』2010年7月号の福好昌治氏論文より。



## 原水爆禁止国民平和大行進 広島へと歩く！

おなじみの背負子姿で、羽村市の渡辺さんは、一昨年に続き、今年は富山コースを行進しています。今頃は鳥取でしょうか。

北海道・礼文島からの平和大行進は、7月21日、檜原村甲武トンネルで山梨県より東京に引き継がれます。21日からは奥多摩コースも出発です。22日は檜原村、奥多摩の長い距離を行進です。

23日は、日の出町・あきる野市コース、青梅・羽村・福生市コース、瑞穂町コースが福生公園に終結し、昭島に引き継ぎます。

## 横田基地の撤去を求める西多摩の会

### 第3回総会のお知らせ

日時：2010年7月31日(土) 1時30分～4時

会場：羽村市コミュニティセンター3階ホール(市役所隣)

記念講演：川田忠明氏(日本平和委員会常任理事)

\* 川田氏は今年、核廃絶ニューヨーク行動にも参加されました。記念講演は1時40分からです。



## なぜ米軍犯罪はなくならない？横須賀の女性殺害事件から見る (No. 79 の裏面)

2006年1月3日早朝、米兵による極めて残虐な事件が横須賀で起こりました。前夜から飲酒していた米空母キティホークの乗組員が、たまたま通りかかった佐藤好重さんを、現金を奪う目的で殺害しました。米兵は、好重さんの肋骨を何本も骨折させ、腎臓や肝臓が破裂するまで殴ったり蹴ったりして殺したのです。しかも、その直後に、コンビニで血のついた手を洗い、水とサンドイッチを買って飲み食いしたといっています。

なぜ、こんなことが平然とできるのか、それは軍隊が兵士をためらいなく殺せるよう訓練しているからです。青梅で講演したことがあるアレン・ネルソンさんも「兵士は人を殺す訓練を受けている。その兵士が基地から街に出ていくとき、暴力だけを基地に置いていくことはできない」と言っています。兵士が暴力をふるい殺人をおかすことは、**軍隊の本質**なのです。



好重さんの夫の山崎政則さんは、事件当日の昼ごろ警察に呼び出され、深夜3時まで、15時間にわたり、まるで被疑者のような取り調べを受けました。山崎さんを壁の前に立たせて写真を撮り、指紋も全部とりました。4日も深夜まで取り調べられた上、家宅捜査までされ、5日も深夜まで取り調べが続きました。ところが、犯人のリースは、4日の朝に米軍当局に身柄を拘束されていたのです。

なぜ、こんなことが起こるのか、それは、米兵犯罪「密約」があるからです。日米地位協定は「米兵の公務中の犯罪は米軍当局が第1次裁判権があり、公務外の犯罪は日本に第1次裁判権がある。日本が裁判権を放棄すれば、米軍が第2次裁判権として裁判する権利を持つことになる」としています。そして「**日本はできる限り裁判権を行使しない**」という「密約」があります。日本の警察もこれに協力し、被害者に対して嘘を言ったり嫌がらせをして刑事告訴をさせないようにしています。米兵犯罪の起訴率は非常に低く、米兵犯罪はなくなりません。

山崎さんは昨年、横須賀で行われた平和大会閉会集会で、スライドを使って事件の説明をしました。右の写真は警察が隠し持っていた好重さんと犯人リースの事件前の写真です。山崎さんが裁判を起こさなかったら、この写真も闇に葬られていたのでしょうか。



好重さんは、米兵に対して怖いという印象は持っていなかったようです。米軍は、沖縄県民はじめ基地周辺住民に反基地感情を持たせないようにと「**良き隣人政策**」をとっています。基地友好祭などでは、愛想のいい兵士があふれていますよね。好重さんは、米兵に基地までの道を聞かれ、教えてあげようとしたため、殺されてしまいました。

「良き隣人政策」の犠牲者は、沖縄でも多発しています。英語を習い始めた少女が米兵に声をかけられ、英語力を確かめたいと思って車に近づいてしまって、レイプされたという事件もありました。殺人の訓練を受けている米兵が、良き隣人の顔をして殺人やレイプ事件を起こし、日本の警察が米兵をかばう、こんなことは許せません。軍隊は日本にいません！！

\*山崎裁判（好重さんを殺害した米空母キティホーク乗組員リースと国を相手に、好重さんの夫・山崎正則さんが2006年10月20日に起こした民事損害賠償請求訴訟）は控訴審が進行中です。

\***横田基地の米兵の子による犯罪**… 2009年8月に東京都武蔵村山市で横田基地所属の米兵の子が道路にロープを張ってバイクで女性を転倒させて重症を負わせた事件では、2010年5月25日、東京地検立川支部が往来妨害と障害の罪で東京地裁立川支部に起訴しました。

**この事件の公判が、7月21日（水）13：30、東京地裁立川支部301号法廷で開かれます。**

（場所：JR「立川駅」下車、北口を出て多摩都市モノレールに乗車、次の「高松駅」下車し5分です。）